

東京23区のニュース >

東京23区の連載 >

東京の観光特集 >

地域コーナートップ >

ランキング

記事

動画

写真

1 愛子さま、桜色の振り袖と紺のはかま姿で卒業式「素晴らしい先生方や友人たちと出会えた」



2 【速報中】ドジャース対パドレス「2番指名打者」大谷翔平が第2打席でダルビッシュから右前に移籍初安打、直後に盗塁も決める



3 日本人男性2人、アメリカの滝で転落死... Tik Tokで人気「イーグルフォールズ」



4 通勤快速から各駅に変更、新ダイヤ始まった京葉線... 利用者「本当に腹立たしい」「諦めるしかないのか」



5 交番勤務中にニンテンドースイッチで10回17時間遊ぶ... 抜き打ち検査で発見、給料差し引く方針



次世代太陽電池実証実験 大田 発電効率や耐久性検証

2023/05/25 05:00

スクラップ



ペロブスカイト太陽電池（手前）で生み出した電気で家電を動かす小池知事（左）（大田区で）

日本発の次世代太陽電池として注目されているフィルム状の「ペロブスカイト太陽電池」の実用化に向けた実証実験が24日、都の下水処理施設「森ヶ崎水再生センター」（大田区）で始まった。2025年12月までの間、発電効率や耐久性を検証する。

この太陽電池はヨウ素などを原材料とし、厚さ1ミリ、重さも1・5キロ（1平方メートルあたり）ほど薄くて軽いのが特長だ。折り曲げることも可能で、配管やビルの壁面などにも設置できる。桐蔭横浜大の宮坂力特任教授が開発し、政府も早期の実用化を後押ししている。

実証実験は、都とメーカーの積水化学工業が共同で行う。下水処理槽の蓋の上に、3種類の大きさの電池計約9平方メートル（出力計約1キロ・ワット）を置く。海に面し、厳しい風雨や日差しにさらされる環境でも十分な発電量を得られるかなどを調べるという。

実験の開始式で、小池知事は「脱炭素で日本の技術が羽ばたく手伝いをしたい」と述べ、同社の加藤敬太社長も「連携を強化し開発を続けていく」と語った。

→ 東京23区の最新ニュースと話題

あわせて読みたい

- 「七つのゼロ」進展は 待機児童大幅減 介護離職は1.7倍
- 関東一11回力尽く 先発途中「もっと強くなる」
- 東京ホットぶれいす 被災者の器と心修復
- 危険な街路樹対策苦心 植樹数十年倒木の恐れ 自治体維持管理指針も

スクラップ 使い方

「地域」の最新記事一覧 >

記事に関する報告

読売新聞オンラインからのお知らせ

- 読売新聞オンラインをかたるメールに注意
- 社会部への情報提供はこちら 皆様からの情報をお待ちしています
- 読んだマークが表示されます 6ページでポイント 読んだらポイントマラソン
- 冒険に生きて 三浦雄一郎 電子書籍 命燃やした夢のエベレスト
- 人生案内、編集手帳、連載小説 朝イチおすすめコーナーはこちらへ
- あなたの運気を診断！ 夢色☆占い 翌日の占いは午後9時アップです
- 就活のプロに聞く 新聞は内定への近道
- 明治～令和、読売新聞150年の記事を検索 個人向け「ヨミダス」月額330円から！
- 投稿・情報提供の窓口一覧はこちら 読売新聞への投稿、情報や写真・動画の提供先をご紹介します

新着プレゼント

- 読売新聞の連載「時代の証言者」を書籍化 伊吹文明 著／望月公一 聞き手「保守の旅路」を10人に
- 佐藤律子著「2年以内に幸せをつかむ 大人婚活」を3人に